

世界の牧会者が注目する万民中央教会
パキスタン、ブラジルの牧会者に訪問の感想を聞いて
みる

[霊の愛シリーズ6] 愛は高慢になりません
神が特に嫌われる悪の一つが高慢である。高慢な人の特
徴、人はなぜ高慢になるのか、肉的高慢と霊的高慢
などを知って、霊の愛を心に耕す方法を提示。

私の心はどんな心の地だろうか？
イエス様は人の心を道ばたの地、岩地、いばらの地、良い
地の四つに分けて説明してください。自分がどんな心の
地なのか発見して、熱心に耕して良い地にするには？

産業褒章受賞、神様の恵みです
国家産業の発展に大いに寄与した功労で産業褒章を受賞、
神様に栄光を帰したキム・ジョンズ執事と家族の証し。

万民ニュース

第124号 2013. 2. 24.

MANMIN NEWS

TEL: 82-2-818-7042

www.manmin.org

「神の愛と力が満ち満ちています」

パキスタン、ブラジルの牧会者、万民中央教会訪問



①ブラジルのメロー牧師(左から二番目)とパキスタンのソヘイル、イリヤス牧師(左から三番目、四番目)本教会の金曜徹夜礼拝に参加 ②世界170か国以上に番組を送出しているGCN放送訪問 ③海水魚と淡水魚が共存しているムアの甘い水水族館観覧

年頭から万民中央教会の働きを学ぶための海外牧会者の訪問が続いた。

今年1月18日、10泊11日の日程でパキスタン総会長および教会代表者協議会の会長ユセフ・ソヘイル牧師と総務カラマ・イリヤス牧師が本教会を訪問した。金曜徹夜礼拝、主日大礼拝と夕方礼拝、ダニエル徹夜祈禱会に参加し、GCN放送(理事長イ・ジェロク牧師)、ムアの甘い水の泉(神の力を現す祈りで海の塩辛い水が甘い水になった奇跡の現場)、ムアの甘い水水族館などを回った。

ソヘイル牧師一行は堂会長イ・ジェロク牧師が導いた「2000年パキスタン連合大聖会」以後、パキスタン全域で牧会者セミナーとハンカチ集会(使徒19:11-

12)を導いたキル・テシク牧師(テジョン万民教会)の持続的な宣教により、本教会を訪問するようになった。

パキスタン連合大聖会を振り返って、「たくさんのクリスチャンが今でも聖会を覚えていて、恵みを分かち合っています。数えきれないほど多くの人が参加して、いやしのみわざが現れた、パキスタンのクリスチャンにとって歴史的な聖会でした」とその時の感動を伝えた。

また、聖会以後、10年間以上キル・テシク牧師を講師に開かれている牧会者セミナーとハンカチ集会を通して、牧会者は聖潔の福音を学んで霊的に成長したと幸せそうに語った。これは神のみこころを正しく悟って働いたからである。また、パキスタンの多く

の人々が神の力あるわざを体験し、いろいろな病気がいやされて主を受け入れていると感謝した。

本教会の金曜徹夜礼拝に参加した一行は「夜を明かして神様に礼拝をささげていることが非常に印象的でした。夜遅い時間にたくさんの人が集まることは、パキスタンでは想像もできないことです。神様の強いご臨在を感じて、聖徒たちがみことばを慕って献身している姿に恵みを受けました」と驚いていた。ダニエル徹夜祈禱会のように聖霊に満たされた祈禱会を開き、この教会で宣べ伝えられているいのちの糧で主のしもべを養成する神学校を設立したいと述べた。

昨年3月、ソヘイル牧師一行が所属しているパキスタン総会および教会代表者協議会は、堂会長

イ・ジェロク牧師を国際理事長に推薦した。これに関して「神様と深く交って霊的に導いてくださる方が切に必要でしたが、イ・ジェロク先生が適任者ということで意見が一致しました」と伝えた。

また、1月17日にはブラジルのグスタボ・メロー牧師が7泊8日の日程で本教会を訪問した。メロー牧師は「民族のための使徒協議会」(傘下に140以上の支教会があり、北インド、アメリカ、メキシコ、コスタリカ、ブラジルで働いている)代表として活動しながら、教会開拓と主のしもべと働き人養成に努めていて、孤児院などを運営しながら福音を伝えている。

2012年9月に開かれたWCDN(世界クリスチャン医師ネットワーク)メキシコ支部主催ア

メリカ学会の講師として参加したメロー牧師は、堂会長イ・ジェロク牧師が現した驚くべき神の力のいやし事例を見て、マンミンの働きに参加しようと本教会を訪問した。各種礼拝とダニエル徹夜祈禱会に出席、GCN放送、WCDN本部、ムアの甘い水水族館訪問などを通して多くを見て学び、宣教ビジョンを新たにしたいという。

メロー牧師は「万民中央教会は主への初めの愛の熱さがあり、霊とまことによって礼拝をささげている聖徒たちの姿に切なる心がにじみ出ています。主を愛する熱い心と恵みに満ちた賛美、特別賛美、聖歌隊、しっかりした組織力など、全般的に非常に素晴らしい教会です」と語った。

愛は高慢になりません



堂会長イ・ジェロク牧師

「愛は寛容であり、
愛は親切です。
また人をねたみません。
愛は自慢せず、
高慢になりません。」
(第一コリント13:4)

信仰と希望は私たちが天国に行くために一時的に必要なものですが、愛は永遠のものです。それで、信仰と希望と愛の中で一番すぐれているのは愛なのです。コリント人への手紙第一13章に出てくる霊の愛15の属性のうち、五番目は高慢にならないことです。聖書を読むと、神様が特に嫌われる悪の一つがまさに高慢であることがわかります。

1. 高慢な人の特徴

高慢とは「自分の才能・容貌などが人よりすぐれている」と思い上がって、人を見下すこと。また、そのさま。」です。高慢な人は自分を第一と思うので、すべてのことにおいて相手を見下して教えようとし、ふつう自分より劣っている相手に対して現れますが、極端な場合は目上の人までも無視します。

このような人と話をすれば、しばしば

議論につながり、争いが生じます。それどころか、互いに自分が正しいと言って憤り、けんかにまで発展します。<箴言13:10>に「高ぶりは、ただ争いを生じ、知恵は勧告を聞く者とともにある。」とあり、<第二テモテ2:23>には「愚かで、無知な思弁を避けなさい。それが争いのもとであることは、あなたが知っているとおります。」とあります。

人はそれぞれ良心が違って、知識も違います。生きてきながら見て聞いて学んで体験したことが、それぞれ違うからです。このような知識には間違いも多いのです。これらのものが長い時間かけて固まれば、自分だけの「義」と「杵」が形成されます。

「義」とは、自分が正しいと思うことであり、これが固まって「杵」になるのです。性格が杵になったり、自分が知っている知識が一つの杵になったりもします。「杵」はちょうど硬い骨格のようなもので、自分だけの姿を作るだけでなく、ひとまず形成されれば、打ち砕かれるのがやさしくありません。

人の思いも、だいたい義と杵から出てきます。自己卑下が多い人は、金持ちがえりだけ整えても「服を自慢してる」と思うし、誰かが難しい文章を書くだけでも、自分を無視していると感じます。

小学校の時、私は先生から自由の女神像はアメリカの西部、サンフランシスコにあると教わりました。ところが、1990年代の初め、連合聖会を導くためにニューヨークへ向かう飛行機の中で、私の知識が間違っていたことがわかりました。自由の女神像はサンフランシスコではなく、ニューヨークにあったのです。

その時、私は「自分が正しいと信じていることも違うことがある」ということを悟りました。このように、人それぞれ正しいと言い張るものには、正しくないものが多いのです。

高慢になると、自分が間違っているのを認めないで、主張し続けて議論につながります。しかし、へりくだった人は、たとえ自分の主張が正しくて相手が間違っている、議論しません。100パーセントの確信があっても、万に一つ自分が間違っていることもあるという余地を残すのです。あえて相手を抑えつけた心がないからです。

へりくだった心には、それだけ自分よりも人がすぐれた者と思う霊の愛があり

ます。相手が自分より貧しかろうが、学んだことが少なかりょうが、力が弱かりょうが、心から自分よりもすぐれた者と思うのです。たとえ子どもであっても、その心を配慮します。すべての魂はイエス様の血の代価によって救われた神の子どもとして尊い存在だと思ふからです。

2. 肉的高慢と霊的高慢

ほとんどの場合、目につくほど自分を誇って人を無視するなど、うわべに現れる高慢は簡単に発見できます。これを「肉的高慢」と言います。これは、イエス・キリストを受け入れて真理を知れば、捨てるために努力するので比較的簡単に捨てられます。一方、霊的高慢は、自ら発見することもやさしくないだけでなく、捨てることも難しいのです。

それでは「霊的高慢」とは何でしょうか？ 信仰生活を長くすると、みことばを聞いてたくさん知っています。務めと使命を受けて地位が高くなったりもします。そうすると、自分が知っているみことばを心に耕したように錯覚します。また、相手を指摘してさばき、罪に定めていながらも、自分は真理によって正しいか正しくないかをわきまえていて思っています。

ある人は必ず守るべき手続きを自分の利益を求めて無視したりもします。明らかに秩序に逆らう行動なのに、「私はこれぐらいの地位にいるので大丈夫。私は例外だ」と思っています。このように高くなった心を「霊的高慢」と言います。心が高くなって神の法と秩序を無視しているのに、「神様を愛している」と言うなら、これはまことの告白になれません。

他の人をさばいて罪に定める心も、まことの愛だと言えません。

人は誰でも聖められる前は高慢になりうる属性があるので、このような罪の性質を根こそぎにすることは非常に重要です。火のような祈りで完全に引き抜かないなら、ある瞬間、再び高慢な姿が出てくるからです。まるで雑草を刈っても、根が残っていればまた芽を出すようなものです。つまり、罪の性質を心から完全に引き抜いたのではないので、信仰生活をしているうちに、また高慢が芽生えてくるようになるのです。

したがって、いつも子どものように主の御前に自分を低くして、自分よりも他の人をすぐれた者と思つて、いのちを尽

くして仕える最高の愛を実践するまで、変わらず信仰の道を走って行かなければなりません。

3. 自分を信じて生きている高慢な人々

ネブカデネザル王は大帝国バビロンの黄金時代を開いた人です。古代の七不思議の一つ「空中庭園」も、彼の時代に作られました。彼は自分の王国と業績を自分の力だけで作り上げたと思つて、自分を神のように拝ませました。

神様は高慢な彼に、世の支配者が誰なのか論じてくださいます(ダニエル4:30-32)。結局、彼は王の宮殿から追い出され、牛のように草を食べ、髪はぼさぼさのまま、荒野で七年間、野の獣と変わらない生活をします。七年後、正気に返ったネブカデネザルは、自分の高慢を悟って神様を認めます(ダニエル4:33-37)。

ネブカデネザル王だけでなく、神様を信じない人々の中には「私は自分を信じて生きている」という人がいます。しかし、生きていれば、人の力で解決できない問題が本当に多いのです。科学と医学が発達したとはいえ、いまだに台風、地震などの天災地変や新型の病気の前では手をこまねいているだけです。

もどかしいことは、神様を信じていると言いつつも、相変わらず自分と世に頼る人がいるということです。神様は助けようとされても、人のほうから高慢になって自分を低くしないならば、神様も介入することがおできになれません。ですから、敵である悪魔・サタンからの妨害から守られることも、栄えるように導かれることもできないのです。

愛する聖徒の皆さん、神様は高慢な人を「愚かだ」と言われます。大いなる神様の前に、人の子らはみな微小なる存在であるだけです。たとえいくら自慢するようなことが多いといつても、この世はつかの間すぎず、後には必ずさばきがあります。

結局、各人が神様の前にへりくだって行い、仕えたほど天国で高い人になります。<ヤコブ4:10>に「主の御前でへりくだりなさい。そうすれば、主があなたがたを高くしてくださいます。」とあるように、主が高くして下さるからです。したがって、へりくだって自分を低くし、神様の前にこの上なく偉い者、尊い人になりますように、主の御名によって祝福して祈ります。

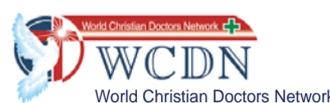


Manmin Central Church

Tel: 82-2-818-7042, 7063
Fax: 82-2-818-7048
www.manmin.org
e-mail: ksy7042@hotmail.com



Tel: 82-2-824-7107
Fax: 82-2-813-7107
www.gcntv.org
e-mail: webmaster@gcntv.org



World Christian Doctors Network

Tel: 82-2-818-7039
Fax: 82-2-830-5239
www.wcdn.org
e-mail: wcdnkorea@gmail.com

Japanese

万民 ニュース

発行人: イ・ジェロク
編集者: ビン・グンソン
www.manmin.org/Japanese
編集発行: 万民中央教会
〒152-848 韓国ソウル市クロ区ク3ドン235-3
TEL: 82-2-818-7042 FAX: 82-2-818-7048

私の心はどんな心の地だろうか？

イエス様は人の心を目に見える地にたとえられた。

代表的な心のタイプとして、道ばたの地、岩地、いばらの地、良い地の四つに分けて説明して下さった。心の地は、どんな親からどんな気を受けて生まれたかによって形成され、どんな環境で

どんな教えを受けて育つかによって変わる。このような心の地の違いは、ひとりひとりの人生にも影響を及ぼす。特に信仰生活において、霊的成長のスピードに違いが生じることがある。しかし、重要なのは、神の力によって十分良い地にすることができるということ、豊かな収穫の喜びに比べれば、心の地を耕す労苦は何でもないということだ。自分の心の地をチェックして熱心に耕し、善なる美しい光の実が豊かに結ばれるように。

道ばたの地

「蒔いているとき、道ばたに落ちた種があった。すると鳥が来て食べてしまった。」
(マタイ13:4)

農夫が種を蒔くと、時々畑の近くの道ばたに落ちることがある。固い道ばたに落ちた種は根を下せない。土の中に入ることのできないので、全然芽が出ないで、鳥が来て食べてしまったりもする。

道ばたとは固い心、すなわち、かたくなな心を表している。みことばを聞いても悟れなくて、信じられない心だ。聖霊体験がないまま教会を行ったり来たりだけするこ

とが多い。こういう場合、信仰を持とうとさらに努力するべきなのに、たいていそんな姿は見つからない。

かたくなな道ばたの心を耕すには、高ぶり、自尊心、頑固さ、偽りなどの心の悪を捨てて、自分の義と杵を打ち砕く作業をしなければならない。長い年月、真理に逆らうもので悪に固まった心を、砕いてはまた砕きながら、持続的に開墾作業をし

ていかなければならないのだ。

たとえば、みことばが自分の思いとぶつかるたびに「はたして私の思いと知識は正しいのか」と探り窮めなければならぬ。神が恵みを下さるように、熱心に善の行いを積まなければならない。本人の努力も重要だが、家族や働き人たちが絶えず祈って導いてあげなければならない。

岩地

「また、別の種が土の薄い岩地に落ちた。土が深くなかったので、すぐに芽を出した。しかし、日が上ると、焼けて、根がないために枯れてしまった。」
(マタイ13:5-6)

岩地はその上に土が薄く覆われていることが多い。そんな所は土が深くなくて、種が落ちれば芽が出ることは出るが、すぐ日の光で枯れてしまう。

岩地の心を持った人は、心にくい込んでいる岩があるので、みことばの芽が根を下せない。つまり、みことばを聞いて喜んで恵みを受けるが、何かの試練や患難、迫害がやって来ればつまずいてしまう。ここで「岩」とは「世を愛する心」を意

味する。広い意味では、神を信じたり愛したりさせない「真理に逆らうもの」である。同じ岩地でも、この真理に逆らうものがどれほど大きくて深くくい込んでいかによって、心の地が少しずつ違ってくる。

また「根がない」ということは、まことの信仰、すなわち、霊の信仰を持ってなかったという意味である。みことばを聞いて理解しただけで、心から悟ったり心で信じたりのでもない。このような信仰を知識

的な信仰と言う。

岩地を耕そうとするには、みことばどおり熱心に行いながら、切に祈らなければならない。聖霊に満され続けて、途中で耕すのをやめてはならない。また、みことばに恵みを受けたり聖霊に満されているとき、心に働きかけてくださることに熱心に聞き従っていかなければならない。神の力によって必ず耕せると信じて、あきらめないでいてこそ答えられる。

いばらの地

「また、別の種はいばらの中に落ちたが、いばらが伸びて、ふさいでしまった。」
(マタイ13:7)

いばらの地とは、とげのあるいばらの木の根から幹が出てきて、こんもり茂ったその全体を指す。種がいばらの地に落ちれば、芽も出て、ある程度育つ。しかし、いばらにふさがれてそれ以上育たないので、実を結べない。

「いばら」とは、霊的に「この世の心づかいと富」、すなわち、財産や名誉、権威などに関するむさぼりのことを言う。それ

で、いばらの地の人はみことばどおり生きていっても、相変わらず試練、患難の中に生きていく。

いばらの地を耕すためには、究極的に心から悪を引き抜いてしまわなければならない。いばらは肉の思いから出てくるし、その根は心の悪である。いくら肉の思いをするまいと思っても、心に悪があれば思いどおりにならない。

特にいろいろな根のうち、むさぼりと高ぶりという二つの大きい根を引き抜いてしまえば、心から多くのものが捨てられる。また、みことばをいつも口ずさんで、目を覚ましていて祈ることによって聖霊に助けられれば、簡単に引き抜ける。そのためには何より、いばらが自分の心をどれほど痛めているのか悟らなければならない。

良い地

「別の種は良い地に落ちて、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍の実を結んだ。」
(マタイ13:8)

良い地は、道ばたの地のように固くなくてやわらかい。種を蒔けば、土がやわらかくて土の中に落ちつく。また、土の中に空気と水分を含んでいるので、芽もよく出る。このように、良い地の心の人みことばを聞いて悟って行く。

また、心に岩がなくて、みことばの根が

すくすくと伸びていく。つまり、どんな試練や患難、迫害がやって来ても、みことばに聞き従う心である。最もすばらしい天国、新しいエルサレムを与えようとする神のお心を感じるので、喜んでみことばを守り行うことで(ルカ8:15)人生の中に祝福の実がたわわに実る。

このような優しく良い心に変えられるには、忍耐が必要だ。霊とまことによって礼拝して、火のように祈ってみことばを守り行うほど、すみやかに良い地の心に変えられて、霊肉ともに豊かな実を結んで神に栄光を帰せるのだ。

日本支教会2月スケジュール

3月9日(土)	別府万民教会	権能いやし聖会(講師:加藤勲牧師)	3月27日(水)	飯田万民教会	権能いやし聖会(講師:柳(やなぎ)スズキ牧師)
3月9日(土)	大阪万民教会	権能の癒し聖会(講師:金マルコ牧師)	3月30日(土)	名古屋万民教会	ハンカチ癒し集会(講師:時國みや子牧師)
3月23日(土)	舞鶴万民教会	権能の癒し聖会(講師:金マルコ牧師)	3月31日(日)	東京万民教会	権能いやし聖会(講師:崔ビョンラン牧師)

キム・ジョンス執事一家



1996年、姉のキム・スネ、キム・スンミ 勸士の伝道で妻と一緒に万民中央教会に出席するようになりました。1999年のある放送局の私たちの教会についての歪曲、偏向報道事件は、私たちの家庭が信仰の家庭に変えられるきっかけになりました。

職場と周りから多くの誤解と迫害がありました。ほんのわずかの疑いもなく、揺れることもありませんでした。神様が堂会長先生を世に広く知らせて、民族福音化と世界宣教をもっと大いに成し遂げられるのだと信じた。たとえ初心の者であっても、ただ聖書のとおり善と愛をもって行われる堂会長先生と、数えきれない不思議とするし、神の力でもにおられる全能の神様を信じたからです。

▶ 頻繁な海外出張で主日を守ることが難しくはないですか？

国際協力業務を総括する責任を負っているため、月に平均1、2回は海外出張があります。主日に教会に出席できない仕事があれば、とても悩みました。それで、主日を避けて出張の日程を組もうと努力しました。そうできない時は、日程を調節して土曜日に帰国しました。この行いをご覧になって神様は、VIP海外歴訪随行をはじめ各種の国際会議参加、韓国で開催される行事を手違いなく終わらせるように働いてくださいました。

▶ 家族全員が主の愛で満たされているとお聞きしましたが。

家族みんなが神の国でだけでなく世でも主に喜ばれようと熱い心で走っています。妻のシン・ヘスク勸士は警察業務の他にも講義、報道機関インタビューなど忙しい日程を送っていて、娘のキム・スンユン姉妹は昨年1、2学期に首席と次席になり、成績優秀奨学金をいただきました。また、息子のキム・スンヒョン兄弟は将来神の国の働き人になろうと、今年、韓国外国語大学の英語通訳翻訳学科に進学しました。

▶ 今年、心の願いがあったら？

今年、神様がマンミンの聖徒たちに初めの声を通して以前よりさらに速く信仰が成長できる恵みを与えてくださっています。私もその主人公のひとりになりたいです。すべてが神様の恵みで、堂会長先生の教えによる祝福であることを告白します。すべての感謝と栄光を三位一体の神様におさげします。

「産業褒章受賞、神様の恵みです」

行く所どこにおいても主を認め、誠実を養って自分の分野で神に栄光を帰したキム・ジョンス執事(韓国貿易協会・国際協力室長、3大大32教区)。2012年貿易の日に「産業褒章」を受賞した彼の家族を万民ニュースが取材した。

▶ 大韓民国「産業褒章」受賞、おめでとうございます。

はい、すべてが神様の恵みです。世界的な景気低迷とヨーロッパの財政危機にも韓国は2011年、2012年連続で貿易1兆ドルの偉業を達成しました。

2011年は、韓国が世界で九番目に貿易1兆ドルを達成した歴史的な年でした。25年間、韓国貿易協会に勤めた私としては、まさに感激の瞬間でした。

さらに2012年12月5日、第49回貿易の日を迎えて、貿易増進を通して国家産業の発展に大いに寄与した功労で、大韓民国叙勲法により「産業褒章」を受賞しました。この賞は国家功労勲章で、産業開発または発展に寄与したり、実業に励んでその功績が明らかな人、または工場、事業所、その他の職場に勤める勤労者としてその職務に精励し、国家の発展に功績が明らかな人に授与されます。国家功労者クラスの待遇が受けられるこの章を、企業体でなく支援機関の現職に身を置いている人が受けることは異例なことと言えます。

▶ すべてが神様の恵みと言われますが。

そうです。2011年9月頃、妻のシン・ヘスク勸士(ブピョン警察署女性青少年係長)が第66回警察の日(10月21日)に優秀警察官に選ばれて、行政安全部長官表彰を受けるようになったという、うれしい知らせがありました。

その時、私は「貿易の日に私も大統領表彰を受けて、夫婦ともに神様に栄光を帰したらいいな」と熱い心で思いました。神様はそれを忘れておられず、驚くべき方法で答えられました。

普段から私は堂会長イ・ジェロク牧師の説教を通し、職場で率先して善を行おうと努力していました。堂会長先生は「自分の利益を求めずに相手の利益を求めて、どこでもキリストの香りを放つ聖徒になるべきだ」と言われて、ご自身が手本になり、私のために祈ってくださいました。

その結果、みことばどおり生きるようになりました。神様は最善を尽くして努力する私の姿をご覧になってかわいと思われたようです。2012年12月、私が願っていた大統領表彰より大きい賞をいただけるように祝福してくださいました。

▶ 信仰の家庭に変えられるきっかけがあったとのことですが。



※ 産業褒章とは、叙勲法により大韓民国国民や外国人として大韓民国産業の開発または発展などに明らかな功労がある者に授ける賞である(叙勲法1・2条)。

キム・ジョンス執事の主な経歴

- 2010.11. ソウルG20ビジネスサミット組織委員会執行委員
- 2011.5. イ・ミョンバク大統領デンマーク国賓訪問の際、韓-デンマーク経済人ビジネスフォーラムの準備および進行
- 2012.3. ベトナムのグエン・タン・ズン総理招へい経済人昼食懇談会の準備および進行
- 2012.8. コスタリカのラウラ・チンチージャ大統領招へい経済人昼食懇談会の準備および進行
- 2012.10. GCF(グリーン気候基金)民間誘致委員会事務局長
- 2012.12. パキスタンのアースィフ・アリー・ザルダリー大統領招へい経済人晩餐懇談会の準備および進行

主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウ教会の礼拝をNSS-6衛星で同時にささげています。

- イエス・キリスト飯田万民教会
〒395-0807 長野県飯田市鼎切石 3883-4
T) 0265-56-8286
<http://iidamanmin.to.cx/>
- 名古屋万民教会
〒465-0014 名古屋市名東区上菅 1-916
T) 052-774-8874
- イエス・キリスト山形万民教会
〒999-3716 山形県東根市蟹沢 1486-4
T) 0237-43-0771
- イエス・キリスト別府万民教会
〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町 4-41
T) 0977-23-8980

- イエス・キリスト大阪万民教会
〒591-8023 大阪府堺市中百舌鳥町 5-775-15
T) 072-220-5289
<http://www.osmanmin.com/>
- イエス・キリスト旭川万民教会
〒071-8144 北海道旭川市春光台4条3丁目 11-23
T) 0166-53-0652
- イエス・キリスト東京田端万民教会
〒114-1102 東京都北区田端新町3丁目36-1 栄ビル2F
T) 03-3809-3326
<http://tabata.manmin.or.kr/>
- イエス・キリスト川崎万民教会
〒210-0818 神奈川県川崎市川崎区中瀬2丁目12-8
グリーンヴァレ 301号室
T) 044-287-7339

- イエス・キリスト松本万民教会
〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343
T) 0263-57-0003
- イエス・キリスト舞鶴万民教会
〒624-0913 京都府舞鶴市上安久 138
T) 0773-75-5656
<http://www.manmin.jp/>
- 岡山万民教会
〒706-0002 岡山県玉野市築港1丁目7-26
T) 0867-72-7276
- イエス・キリスト銚田万民教会
〒311-2102 茨城県銚田市台濁沢1080-6
T) 0291-39-9177

- イエス・キリスト東京万民教会
(東京万民宣教センター)
〒167-0051 東京都杉並区荻窪 2-29-13
T) 03-6915-1740
- イエス・キリスト京都万民教会
〒611-0001 京都府宇治市六地藏奈良町61-22
T) 0774-66-3417
- イエス・キリスト沼津万民教会
〒410-0802 静岡県沼津市上土町6第一ビル2F
T) 055-952-6861
- イエス・キリスト沖縄万民教会
〒901-2212 沖縄県宜野湾市長田1-28-10 サンライフ米須301号
T) 098-988-9472